

**「宮古市の活性化について考える。」**

観光客増加のために・・・

## \* 研究仮説の設定 \*

観光客において、イベントなどを全国にPRし、県外の人たちに宮古を知ってもらい、興味を持ってもらったうえでイベントに参加してもらうことにより、市の活性化につながるのではないかと考える。

# 研究目的

- そこでこの研究は、イベントのPRによって集客力が向上することを明らかにし、宮古市の活性化に役立てようとするものである。

# 基本構想図

## 現状

地元や、その他の地域の人々が、イベントはあっても知名度が低く、  
それを知っている人は少ない

イベントがあることを知ってもらう必要がある

## 解決策

人通りの多い場所や、大きい駅や  
旅行会社へのイベントのPRが必要と  
考える

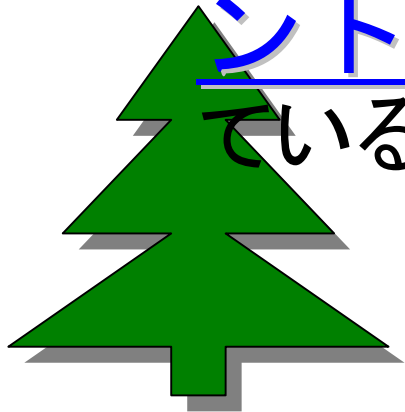
イベントの知名度が上がり参加者が増える

# 研究意義

なぜなら、観光客がイベントなどに参加してもらうことは市の活性化において必要不可欠だからである。

Q 観光客が来るように工夫している  
ことはありますか？

A 宮古は浄土ヶ浜など自然を売りにしているところが多く、悪天候の場合は人が集まりにくいので、天候に左右されない屋内で人が集まるイベントや観光施設を作りたいと考  
えている。



# Q 宮古市のことを全国にどのように PRしていますか？

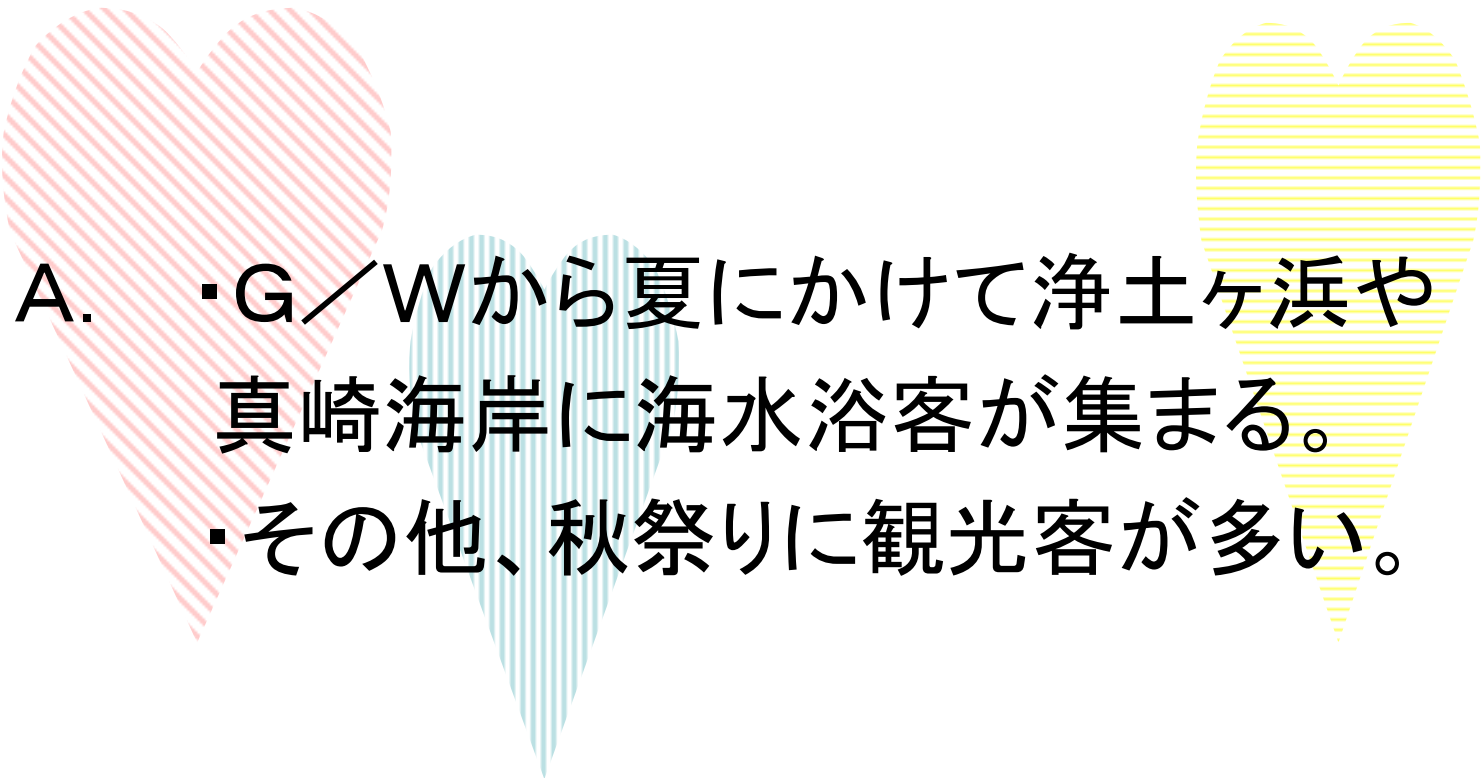
- A
- ・浄土ヶ浜、トドヶ崎など、そのままの自然をPRしている。
  - ・市役所のHPや旅行会社や「じゃらん」などの旅行雑誌にイベント情報を載せている。
  - ・市役所に電話をすれば無料でパンフレットを送ってもらえ、実際に来ていただいた方には、交通費などを出すということもしている。
  - ※問い合わせしてくれる人は、宮古市のこと知らない人が多い。

**Q. 宮古市に来る観光客はどのような目的で訪れていると考えていますか？**

- A.**
- ・自然の景色の景観を見に来ている。
  - ・やはり景色、夏だと海水浴を目的としている。
  - ・見るだけでなく体験型の観光を目的としている観光客が増えている。
  - ・H14年から観光客が減り続けている。



Q. いつの時期が一番観光客が来ますか？

- 
- A.
- ・G/Wから夏にかけて浄土ヶ浜や真崎海岸に海水浴客が集まる。
  - ・その他、秋祭りに観光客が多い。

Q 観光客が参加できるような  
イベントは宮古市に  
ありますか？

A 秋祭り・田老のアワビ祭り  
ウニ祭り・鮭祭り  
毛ガニまつり

Q. どのイベントに観光客が一番きますか？

A. 2月 毛ガニ祭り1日  約1万人

# Q 観光客はどの年代層が 一番多いですか？

- これからは、**定年**した世代・**団塊**世代が多くなる
- その年代層をねらったイベントを考える。
- いかにか、その人たちに宮古に住んでもらえるか、宮古を地元にしてもらえるかを考えている。



Q. 観光客に人気の名所やお土産はありますか？

A. 名所→浄土ヶ浜・三王岩・月山・トドヶ崎灯台

お土産→イカせんべい・重茂と真崎のわかめ

# 市の活性化のために何か工夫していることはありますか？

- 宮古に人をとどめてなるべく日帰りをさせない
- 海の見えるホテルを少し増やしたい
- 農業や漁業などの自然体験ができるイベントを増やす
- 宮古の自然を活用してのグリーンツーリズム

# グリーンツーリズム

都会の学生を誘致  
農業・漁業など  
**自然体験**

時期が合わない  
地元の人が地元をよく知らない

**地元をよく知らなければならない**